

## 規則の改正点について

2014年3月 現在  
日本ジェットスポーツ連盟

※ アンダーライン部分が変更箇所です。

>

	2014年度 ジェットスポーツ国内競技規則 1992年9月4日制定 2014年1月1日改正	2013年度 ジェットスポーツ国内競技規則 1992年9月4日制定 2013年1月1日改正
追記	307 その他 9 <u>参加者だけでなく、サポーターについても、刺青(ファッションタトゥーも含む)を露出した状態で、レース会場を歩き回ってはならない。</u> <u>反社会的勢力関係の方の大会参加は出来ない。</u>	307 その他
追記	802 エンジン関係 8 <u>エンジンマウントは社外品を使用して良い</u> <u>スターターモーターは社外品を使用して良い。</u>	802 エンジン関係
変更	850 ストッククラス(STK) 5 <u>純正部品は、同一機種の新旧純正部品と交換してよい。</u> 交換部品は、許可された交換、改造の規則を除き、当該部品または他の部品を改造すること無しに、取り付けなければならない。	850 ストッククラス(STK) 5 純正部品は、同一機種の新しい純正部品と交換してよい。交換部品は、許可された交換、改造の規則を除き、当該部品または他の部品を改造すること無しに、取り付けなければならない。
追記	(2)ランナバウトの重量はホモログを受けた純正重量より15.88キログラムを下回ってはいけない。	
追記	7 エンジン本体系統 (ランナバウト4ストローク) (2) <u>カムシャフトのタイミングは変更してよい。</u> ただし、純正品とし、カムシャフト本体を加工してはならない。 (3) <u>フュエルプレッシャーレギュレーターは社外品または、改造してよい。</u> (4) <u>バルブスプリングリテーナーは社外品を使用してよい。</u>	7 エンジン本体系統 (4ストローク)
追記	9 排気系統 (ランナバウト4ストローク) (4) <u>以前に穴あけやタッピングされたエキゾーストマニホールドは穴埋めや閉栓をする事により使用してよい。</u>	9 排気系統
変更	10 冷却及び排水系統 (2ストローク)	10 冷却及び排水系統 (2・4ストローク)
追記	(1) 規則802以外の改造は、行ってはいけない。 (ランナバウト4ストローク) (1) <u>冷却水制御装置</u> (イ) <u>冷却水供給ラインは、加工したり追加してよい。</u> ただし、純正の供給ラインの径を変更してはならない。 (ロ) <u>バルブは、社外品を使用してよい。</u> ただし、固定式または自動式(例:サーモスタット、圧力弁、ソレノイド等)のもので無ければならない。 (ハ) <u>冷却作動中に、水の流れを変更する為の手動式制御装置は、取り付けてはならない。</u> (ニ) <u>インタークーラーの冷却用の追加ラインは純正品に直接取り付けよう。</u> (3) <u>バイパスフィッティング</u> (イ) <u>改造、取り付け位置の変更及び社外品を使用してよい。</u> また、追加したり、位置を移動してよい。 (ロ) <u>排水出口は、他のライダーに危険を生じないように、下方/後方に向けなければならない。</u>	(1) 規則802以外の改造は、行ってはいけない。
削除	11 電気系統 (2・4ストローク)	11 電気系統 (2・4ストローク) (ハ) 4ストロークT/S付きの艇は、電装関係は純正を使用しなければならない。

追記	(ランナバウト4ストローク) <u>(1)純正ECUを改造してよい。純正コネクターに接続できるものであればリミッターを解除するものをつけてよい。但し、追加センサーは認めない。エンジン温度センサーは作動しなくても良い。</u>	
追記	12 艇体系統 (2・4ストローク) (2) <u>(ヌ)トリムタブは同一形状の社外品を使用してよい。素材は変更してよい。</u>	12 艇体系統 (2・4ストローク) (2)
追記	900 オープンクラス 2 競技艇 (4)重量はスキークラス 114kg、スポーツクラス 136kg ランナバウト800クラス 182kg <u>ランナバウトクラス 340.2kg</u> を下回ってはいけない	900 オープンクラス 2 競技艇 (4)重量はスキークラス 114kg、ランナバウトクラス 216kgを下回ってはいけない。
追記	(5)スキークラス <u>船体の最大幅を762mmまでとする。</u> <u>後部ポンドレールの一部分を危険の無いように取り除いてよい。</u>	

#### P・A R/Aストック クラスについて

2014年より P R/Aクラス、 A R/Aクラスとして名称変更して別クラスとして行ないます。

参加者が少ない場合にはPとAの混走となりますが、表彰は分けます。

現プロ資格 (R/A, SKI)の方は参加可能です。

2013年度昇格者はプロ資格が取れますが、オープンクラスには参加出来ません。参加はP R/Aのみです。

2014年度成績上位者は2015年にオープンへの参加可能となります。

A級(R/A, SKI)の参加者は従来通り A R/Aクラス、 A R/A SLTDクラスに参加可能です。

A級の昇格について A R/Aクラス → P R/Aクラス

A R/A SLTDクラス → P R/A オープンクラス

→ P R/A クラス

#### P W SKI A W SKI について

P W SKI A W SKIはLTDからSLTDに変更になりました。

#### スパーク クラスについて

今年よりBRP社製のスパーク使用のレースを行ないます。

新規参加者は(B級)通常どおり講習を受けて選手登録する。

スパーククラスのみ参加の場合には競技艇登録は無くてもよい、チームに入らなくても参加できる。

チームに入ってる場合にはチームポイントを付ける。

**艇の改造はスポンソンの交換のみとする。**

艇ゼッケンは青バック、白文字で登録順に番号をとる。指定ゼッケンは有料とする。昇格はなし。

**賞金** 1戦～8戦 各レース1位 5万円、2位 3万円、3位 1万円、

年間チャンピオンに20万円、2位 10万円、3位 5万円 の賞金があります。

スパークで通常のレースに参加する場合には R/A800オープンクラスとなり、改造はSLTDまでです。

この場合にはチーム、艇登録は必要となります。

#### 指定ゼッケンについて

今年よりP, A, B級について年間指定ゼッケン(2桁まで)を受付けることとなりました。

年間指定ゼッケン申請書にて申請してください。

指定ゼッケン¥5000

希望番号が重複した場合には成績上位者が優先となります。

#### エントリー代について

本年度より大会のエントリー費を1割値上することとなりました。